

第4回かわさきリノベーションまちづくり検討会 開催概要

川崎駅東口周辺を中心に、空家などの遊休化した不動産や、潜在的な地域資源を活用して課題解決を図る「リノベーションまちづくり」の検討会を行っています！

第4回検討会

日時：平成29年5月23日（火）
18時00分～21時00分
場所：武蔵溝ノ口駅前自由通路

メインテーマ：
住まいと福祉（全市展開と沿線まちづくり）

テーマに合ったゲストのレクチャーと、参加市民を交えた意見交換を行いました。



まず、これまでの検討状況を振り返ったあと、東北芸術工科大学教授の竹内昌義氏から、日本の住宅の断熱性の課題や住宅の高断熱化のメリットなどについて、東洋大学の水村容子氏から、高福祉国家スウェーデンの事例を交えながら、高齢・障害者など誰もが住みやすい居住環境づくりについて、その後、東急電鉄の小林乙哉氏から東急池上線リノベーションスクールのお話をいただきました。

その後、(株)リノベリングの嶋田洋平氏から、これまでの検討会のキーワードを振り返るとともに、川崎市を川崎駅周辺・臨海部・郊外住宅地の3つにゾーンを分けて考えることの必要性についてお話をいただいた後、委員及び参加者の意見交換を行いました。

- ・お金が他地域にキャッシュアウトしないようなまちづくりをしなければならない。そのためには、行政がタテ割りではいけない。
- ・川崎市内はお金に厳しい人が多いが、健康維持はお財布にもメリットがあると伝えていくべき。
- ・高断熱光熱費込川崎ブランド賃貸住宅を作ってみたらいかがか。
- ・小田急多摩線沿線の高齢化はこれから。駅に人・車が寄り付きにくい。
- ・まだ人口増加を続けている川崎市が、人口減少の危機感をもって取り組んでいるのが素晴らしい。
- ・耐震・断熱・バリアフリーの3点セットが今後重要。
- ・麻生区でラジオ局の開局に向けて動いている。住宅断熱に真剣に動いていくのであれば、お手伝いしたい。
- ・多摩川のサイクリングロードはおしゃれ、など、かつこいとまねする人が出てくるとよい。情報発信は大変重要。
- ・こういう取組は学生たちの良い刺激になる。いいテーマ選びを。
- ・ずっと住んでいる川崎市民は、川崎のことを「嫌いじゃないけど、好きじゃない」。シビックプライドを持ってほしい。
- ・川崎から青葉区に引っ越した。大きな理由は「保育園」の関係。
- ・日本は未だ持ち家政策だが、他の国ではリノベーションが当たり前。子育て世帯向け賃貸住宅の供給が少ないため、買わざるを得ない部分もある。ファミリー向けの賃貸住宅が増やせると良い。
- ・川崎には3rd place 的な場所がない。居場所を増やせると良い。

【出席者】（敬称略）

専門家	嶋田 洋平	㈱リノベリング代表取締役
ゲスト	竹内 昌義	東北芸術工科大学教授
	水村 容子	東洋大学教授
通年委員	石井 秀和	㈱南荘石井事務所代表取締役
	田村 寛之	川崎経済新聞編集長<欠席>
	的場 敏行	㈱NENGO 代表取締役社長
テーマ委員	菊田 知展	京浜急行電鉄株式会社課長補佐
	小林 乙哉	東京急行電鉄株式会社課長補佐
	滝島 敬史	小田急電鉄株式会社課長
	林 直人	川崎市住宅政策部長

問合せ：川崎リノベーションまちづくり実行委員会
（川崎市まちづくり局総務部企画課）
電話：044-200-2716
メール 50kikaku@city.kawasaki.jp
（川崎市まちづくり局拠点整備推進室）
電話：044-200-3027
メール 50kyoten@city.kawasaki.jp